

令和2年度 富山第一高等学校 学校経営計画 重点課題(アクションプラン)の中間評価

本年度の重点課題(アクションプラン)

1 学習活動・教科指導

- | | |
|------|--|
| 目 標 | 生徒の主体性や学習意欲を刺激し、自主的な学習活動の向上を促進する |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none">・ICT 機器を最大限に活用し、生徒の自主学習を促す・総合的な学習/探究の時間を活用し、「主体的、対話的で深い学び」を意識した授業を実践する |
| 中間評価 | <ul style="list-style-type: none">・ICT 機器を活用しての休校期間中（4・5月）における動画配信や課題の提示手段等について検討を重ね、問題点を洗い出した・ICT 機器の本格導入に向けての検討を重ねた・GIGA スクール構想を踏まえ、校内全館の Wifi 整備に関わる提言を行った・総合的な学習/探究の時間における調べ学習では生徒の携帯端末を使用した。また、その活動を撮影し、記録として残した（地域の清掃活動等） |

2 生徒指導

- | | |
|------|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・公共交通機関利用マナーの向上及び自転車運転ルールの徹底・すすんであいさつができる生徒の育成 |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none">・校前指導を毎朝行う・「さわやか運動」などであいさつや声掛け、乗車マナー指導を行う・学年集会、S・T、「学年通信」などで具体例をあげて意識喚起を行う・交通安全指導の日（1日・15日）には、通学路に出向き指導を行う |
| 中間評価 | <ul style="list-style-type: none">・相手の顔を見、あいさつできる生徒が増えつつある・機会を捉えて繰り返し自転車運転のルールについて指導を行っている |

3 生徒会活動（特別活動）

- | | |
|-----|--|
| 目 標 | 委員会活動を通して、主体的、積極的に活動できる生徒を育成する |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none">・一人一人の個性を尊重しあいながら、委員会活動を行う・学校行事における生徒会の役割分担の中で、生徒の個性を発揮 |

させる

- ・地域清掃などのボランティア活動に主体的、積極的に参加させる
- ・日常の学校生活において各委員会が積極的に役割を果たし、おのおのの活動の一層の活性化を図る
- ・生徒会の活動内容を多くの人に知ってもらうため、ホームページ等を活用して広報活動を行う
- ・長い休校期間のため思うような活動ができなかったが、生徒会新聞の発行などできることは行った
- ・地域清掃活動は多くの生徒の協力を得て実施することができた

4 保健指導

- | | |
|------|--|
| 目 標 | ・生命を尊重し、生涯にわたり自らの健康を管理できる生徒を育成する |
| 方 策 | ・感染症予防対策の実践力を高める |
| | ・保健の授業で応急処置や心肺蘇生法を習得させる |
| | ・総合的な学習/探究の時間に消防署職員を招き、救命講習を受講させる |
| | ・毎朝の健康観察、保健等の授業、保健室だより等の配布を通して感染症予防や健康管理の意義を学ばせる |
| 中間評価 | ・新型コロナウイルス感染拡大の中、毎朝健康観察を行ったことにより、自身の健康についての関心を持つようになった |
| | ・生徒の新型コロナウイルス感染症や熱中症についての意識高揚のため、保健委員による校内放送や保健だよりの作成・配布など、委員会活動を行った |

5 図書館活動

- | | |
|------|--|
| 目 標 | 読書習慣の定着と図書館の利用を促進する |
| 方 策 | ・「朝の読書」にしっかりと取り組ませる |
| | ・学年や教科担当者の協力を得て、授業における図書館活用の機会を増やす |
| | ・年間貸出冊数の目標を 3000 冊とする |
| 中間評価 | ・「朝の読書」の実施状況… 1年総合・美術コース 毎日
2年総合・美術コース 週3日
3年総合・美術コース 毎日 |
| | ・授業での図書館利用が少ない |
| | ・探究活動の調べ学習において、自主的に調べることができない生徒が少なくない |
| | ・貸出冊数は9月末でおよそ900冊で、2・3年生の利用が少ない |

6 環境教育

- | | |
|------|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・清掃活動を通じて、集団生活を意識した協調性を育成する・身の回りの整理整頓を通して、清潔な状態を保とうとする態度を育成する |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none">・校内清掃活動の指導・学校行事前に清掃活動を行う
入学式、オープンハイスクール、入学試験、卒業式等・モップ交換
年3回（4月、9月、1月）・美化委員会活動の指導
黒板クリーナ内フィルター清掃（毎月末）
清掃担当区域の清掃道具点検及び整備（4月・6月・11月）
除草活動（5月・10月） |
| 中間評価 | <ul style="list-style-type: none">・学校行事前の清掃活動は、多くの生徒（部活動）の協力を得て実施した・美化委員会活動は以下の通りである
モップ交換（6月）
黒板クリーナ内フィルター清掃（7月）・除草活動を7月に実施した |

7 進路支援

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・入試改革に伴う新しい入試制度の周知と生徒の志望進路にあった有効で実践的な情報提供を行い、進路目標実現へ向けた適切な指導を行う・動画配信教材を利用し、生徒の基礎学力の向上を図り、進路目標の実現に近づくように指導する |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none">・各種学校説明会や来校訪問で得た情報を取捨選択し、各担任がそのときに必要な情報は何かを踏まえながら、校内LANを活用して情報配信し、その共有を図る・各種学校から送付されてきた資料を直接配布する・各学年の特性に応じた適切な情報を配信する<ul style="list-style-type: none">1 学年：2年次の系選択に関する情報に加え、1年次から受験を意識できるような情報の提供2 学年：各種学校の設置する学問分野の情報だけでなく、新しい入試制度に関する情報の提供3 学年：志望校決定の参考になる情報や新しい入試制度に関する情報の提供・生徒の進路志望調査をもとに、複数の教員が共通理解を持ち進路実現につながる指導を行う・これらの情報提供がどの程度生徒たちの進路指導に生かされた |

	のかを各担任より聞き取り、次年度に生かしていく
	<ul style="list-style-type: none"> ・動画配信教材を使った指導を週に1回程度行い、苦手分野の克服と基礎学力の向上を図る ・動画配信を利用した大学の講義を見せ、生徒の志望進路の具体化につなげる
中間評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年とは違った対応が求められている。特に入試におけるオンライン化が急速に進み、その対応が後手に回っている ・新しい入試制度について変更が相次ぎ、情報の発信が追いつかない状態である。常に新しい情報の取得を心掛け、適宜情報提供ができるよう努力したい ・動画配信教材を利用した大学講義の視聴や学習教材については反省点を生かしながら継続して取り組み、今後につなげたい

8 情報発信

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者に向けた情報を迅速かつ正確に発信する ・本校の教育活動をタイムリーにホームページ上に公開する
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE配信サービス、ホームページを駆使し、関係者へ情報発信する ・ホームページを通じて、リアルタイムで学校情報・教育活動を公開する
中間評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、想定外の生徒・保護者に向けた情報発信が求められた。当初考えていたLINE配信サービス・ホームページに加え、Slackを用いた。しかし通常の学校情報などの公開への配慮が行き届かず、今後の改善を検討しなければならない</p>